

令和元年度 しまね☆まめなカンパニー取組報告について

1. 報告数

報告対象事業所数 186 / 報告事業所数 176 (回収率 94.6%)

2. 報告内容

・取組状況については、6割の事業所で取組が増加した (☆追加:24 事業所/登録時、☆4 つ以下:40 事業所)

3. しまね☆まめなカンパニーを知ったきっかけ (※重複回答あり)

情報提供元	人数	詳細内訳	
島根県からの情報提供	128	研修・セミナー	27
		出前講座	0
		県機関誌	26
		HP	17
		その他	22
関係機関・団体からの情報提供	25	事業所訪問	8
		研修・セミナー	7
		会報誌	6
		その他	3
その他	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルス・マネジメントの認定 ・まめなカンパニーへの移行・継続 ・たばこ対策取組宣言の実施により、案内をもらった ・しまね☆まめなカンパニーのリーフレット ・健康づくりの観点で衛生委員会のテーマを検討していた際に県のHPで認識した。 ・他企業の取組み 	
無回答	23		

4. 取組の感想 (抜粋)

★意識・行動の変化

- ・目標をもって楽しく取り組めた。今後も成果が出るよう取り組んでいきたい。
- ・職員にも健康について考える機会となり、よかった。
- ・健康に関して意識を持つようになった。社員が進んで改善に向け取り組んでくれている。
- ・町保健師、栄養士の協力により、健康教室を開催し、健康について意識するようになってきている。
- ・メールマガジンを回覧し、健康づくりを意識するようになっている。健康経営の意識が高められていると感じる。
- ・社内定例会において定期的に健康に関する情報提供を行ったり、会社が健康に関する認定を受け、それを社員に周知することにより社員の健康に関する意識と知識が高まってきているように思う。
- ・運動習慣の為の時間確保は難しいが、皆が運動について話題にし、少しずつ取り入れられよかった。
- ・取組を通し日頃の活動量について考えるきっかけとなった。運動習慣が継続できるような工夫があるとよい。
- ・新たな取り組みとして、ウォーキング大会を実施。運動習慣をつけるきっかけ作りになったと思う。
- ・社内ネットワークにて、健康情報を提供すると良い反響があり、社員の健康意識の高さを実感した。

★たばこの取組について

- ・事務所内、敷地内の禁煙の徹底により喫煙者が喫煙する時間は減少している。
- ・事務所内外の禁煙促進の効果により、禁煙を挑戦する社員が出てきており、継続的に取り組みたい。
- ・禁煙補助があっても、なかなか禁煙に取り組む方が少ない。禁煙する意思の方が少なく、意思のある方は、何もなくても禁煙できると思った。

- ・社内に喫煙者はおらず、近隣の事務所の喫煙が気になっていたもので、このまめなカンパニーをきっかけに近隣の事務所に喫煙ルールを協力してもらおうようにする事ができた。

★健診・がん検診

- ・健康診断の結果で、早期のがんを発見する事が出来ているので、健康診断の重要性を実感している。
- ・定期的に歯医者、眼科に行って検診を受ける社員や、運動する社員が増えてきた。
- ・各がんや健康に対しての従業員の意識の変化や取り組みあり。
- ・がん検診の声かけ等は活動の一環として取り組んでいることで効果はあると思う。
- ・がん検診の話題になると『がん検診ね、時間が無くて』と、どこかがんは他人事と思われる方が多いと感じた。

★治療と仕事の両立支援

- ・治療のための休暇取得について、事業主も従業員も協力的で、安心して治療できよかった。
- ・がん治療をされている方も多く、職員としてもがん検診に興味がある。年齢も幅広い方が来局されるので、こういったものに興味を持っていただきたいと考えている。

★環境づくり

- ・人手不足が感じられるようになってきた。今いる社員が、健康で長く働けることは、とても大切なことだと思う。
- ・従業員が健康に働ける職場となるよう環境整備や情報発信により積極的に取り組めるようになった。
- ・習慣を変える事は難しいが、みんなで取り組むことで意識が変わり、継続につながると思われる。
- ・メンテナンス休暇(心身のメンテナンスに利用できる休暇)が創設されたり、より健康への意識が高まっている。
- ・従業員に取り組みを理解してもらい協力的に活動ができていますが、状況や問題点を分析しその都度内容を工夫していく必要がある。
- ・職員の心と体の健康づくりに取り組むことで、事業所の PR になることはもちろん、職員自身も働きやすい職場環境づくりに向けた意識が高まってきていると思う。
- ・社員に長く働き続けてもらえるよう、これからも制度などのブラッシュアップを行っていきたいと思う。
- ・担当課と実務担当課で話し合う機会ができ、状況の確認や今後の取組について考えることが出来た。
- ・魅力ある働きやすい職場を目指す中で、健康面に関する充実をよりよくしていくために、この制度はとても有効であると捉えている。
- ・自社だけで、健康づくりに取り組むことは難しく、様々な機関の支援を受け、情報を得ながら、活動の幅が広がったように感じる。

★今後に向けて

- ・今後は、取り組みが心身の健康により活かされるようにしていきたい。
- ・今年हतばこ対策だけでなく、「食」についても発信し会社全体で何か取組めたらと考えている
- ・今後、感染症予防及び食生活・アルコールといった個人的な部分についても更なる取組と支援を実施したい。
- ・なかなか意識しない分野ですが、このような仕組みがあると強制力が働き「やらないと！」と思わせてもらっている。

★その他

- ・啓発ツールは利用者への健康啓発にも使用できている。
- ・取組内容を確認しながら、当法人の傾向や課題を見出すことが出来た。”
- ・無理なく取組め、継続を目標としている。
- ・資源と税金の無駄使い事業だと思っているが、医療機関なのでやむなく参加している。この事業をした効果など評価を自らすべきと思う。